

不登校児童生徒等支援研修会

7月30日（水）、3名の講師の方々をお招きし、不登校児童生徒等支援研修会を開催しました。市内教員、滑川市教育支援センター・校内教育支援センター支援員が参加し、児童生徒の支援について学びました。

【講師】

富山県総合教育センター 教育相談部
客員研究主事 濱野 恵美 先生
研究主事 大野 沙奈恵 先生
研究主事 棚田 健介 先生

研修会前半は、濱野先生から、「不登校の児童生徒の支援について～保護者とのかかわり～」と題しご講話いただきました。講話の一部を紹介します。

○不登校の要因に関する調査から見えること

- ・文部科学省が公表（令和6年3月）した調査結果によると、不登校の「きっかけ」として、児童生徒は以下のように答えている。
 - 「体調不良を感じた」…69%
 - 「不安や抑うつの気持ちがあった」…77%
- ・一方で、教師がこのような要因を認識していた割合は19%に留まっている。
- ・このことから、児童生徒が感じている心身の不調や不安に十分気付いていない可能性があるかもしれない。児童生徒の気持ちに寄り添い、丁寧に関わっていくことが支援の鍵となる。

○エピソードプロセスについて

- ・児童生徒の気になるエピソードを基に、その背景（要因や心情）を想像し、「なぜそうなっているのか」を見立て、具体的な手立てを検討するケース会議の方法。
（例）なぜ引きこもる？ → 毎日「～しなさい」と言われて疲れている。

手立て → 命令口調を控え、穏やかな声かけに変える。

- （例）なぜ昼夜逆転？ → 親との会話を避けたい気持ちがある。

手立て → 学校の話をする前に一言「話している？」と前置きする。



○リソース（援助資源）

- ・不登校の支援では、本人だけでなく保護者への支援も大切。子供を思うがゆえの不安や戸惑い等、様々な気持ちを抱えることは自然なこと。学校に相談させる保護者の姿には、「何とかしたい」「どうしたらいいか知りたい」という学校への期待が込められている。
- ・こうした保護者の思いに寄り添いながら、学校内外の援助者（市役所不登校対応課・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等）と連携し、本人と家族の両方を支えることが重要。

研修会後半は、グループに分かれ事例検討会を行いました。

児童生徒の基本情報の共有→気になるエピソードを出し合う→できていることを挙げる→保護者と本人の心情を想像する→支援の具体策を考える、という流れで進める「エピソードプロセス（ケース会議）」を体験しました。

受講者の感想

エピソードプロセスで本人や保護者の気持ちをそれぞれ考えることで、これから誰にどんな支援が必要か見えてくることが分かりました。30 分で行うには、時間を区切るタイムキーパーの役割も大切だと思いました。ありがとうございました。
これまでのケース会議の際には、子供たちのできないこと、課題面に目が行きがちで、その結果できないことをできるようにするため、課題を克服するための方策について話し合うことが多かったです。対応が小手先になってしまい、子供の思いや心が置き去りにされていることを感じました。これからは、子供の思いや心を中心に置いて、根本的な解決につながるようなケース会議をしていきたいと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
エピソードプロセスによる事例検討を行うことにより、児童理解を深める様々な見方や具体的な手立てを学ぶことができました。不登校のきっかけ要因について、教師と児童・保護者との捉え方のズレがあることを知り、きめ細かな児童理解に努めることの大切さに気付くことができました。
エピソードプロセスの活動を通して、生徒の状況をうまくまとめられたり、関係者と対応を検討したりすることで今後の方針が見えやすくなることが分かりました。今後の指導に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
実際に事例検討をして、先生方の子供を捉える視点や、心情を想像する見方が参考になりました。互いに理解しようとエピソード等を引き出したり、それに基づいて心情を想像したりすることにより、具体的な手立てを考えることができました。何より、保護者や本人の困り感に寄り添うことによって、望ましい支援、温かな支援につながっていくことを実感することができました。本校においても、不登校児童や生活面において支援が必要な児童に対して、このエピソードプロセスを用いて、チームでよりよい支援を見付け、保護者や本人に関わっていきたいと思います。（よい研修の場を与えていただきありがとうございました。たくさんの教員に学んでほしいと感じる研修でした。）
とても有意義な研修会でした。エピソードプロセスやってみたいと思いました。本当にありがとうございました。
今回の研修では、様々な視点から子供のことを考え捉えることができました。2 学期からの生活につなげ、より良い生活ができるように考えていきたくなる研修会でした。ありがとうございました。